

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2072100502		
法人名	社会福祉法人御代田町社会福祉協議会		
事業所名	グループホームみよた		
所在地	長野県北佐久郡御代田町大字御代田1833-1		
自己評価作成日	令和 6年 10月 21日	評価結果市町村受理日	令和 7年 2月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaizokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&lievosvoCd=2072100502-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社	
所在地	長野市松岡1丁目35番5号	
訪問調査日	令和 6年 12月 11日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

住み慣れた住居で最後まで過ごす事ができる様に可能な範囲で、介護、医療、地域と連携を取りながら支援している。入居されている方達の出来る事に目を向け、本人の持つ、能力や繋がりを活かしながら、個別に支援を行う様に心掛けている。開設当初から、地域の皆さんに支えられて事業を展開してきた。コロナ禍以降でも地域との繋がりを意識しながら、地域の拠り所となる、開かれた事業所を目指している。終末期になっても可能な範囲で最後までグループホームで過ごしていただける様に入居者の出来る事に目を向けながら、支援していきたい。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

近年、首都圏からの移住者が増加していることでも知られる長野県御代田町の、雄大な浅間山を眺められる場所に、御代田町社会福祉協議会法人本部と隣接して当ホームがある。開設から20年8ヶ月が経過しており、令和4年4月に2床を増築し、計9床のグループホームとなっている。90歳以上の方が7名で平均年齢が92.6歳、平均介護度が3.22と、「認知症(急性を除く)の高齢者」に対して、共同生活住居で、家庭的な環境と地域住民との交流の下、入浴・排せつ・食事等の介護などの日常生活上の世話と機能訓練を行い、能力に応じ自立した日常生活を営めるようにするもの」という認知症グループホームとはややかけ離れたつくり、ホーム内での移動にも支援が必要な利用者が多く、身体介護的にも関わる部分がかなり多くなっている。そうした中、職員はホームの理念の「住み慣れた地域で、その人らしく、そして安心して暮らせるために」を念頭に、日々の支援に取り組んでいる。地域との関わりでは地区の清掃に職員が参加したり、近隣住民から野菜のおすそ分けがあったり、また、利用者が自宅のある地区の高齢者サロンに参加したり、更に、馴染みの美容院に家族と出掛ける方もおり、知人や友人の面会についても自由に行い、在宅時からの密接な関係を継続できるようにしている。家族との関わりでは、現在、面会についてはできるだけ事前に連絡をいただくようお願いしているが、時間、人数には制限なく、居室にて可能で、家族からは面会の機会や受診対応の際に意見・要望を聴くようにしている。加えて、毎月、写真が掲載されたホームの新聞「よりそい、向かい合う」を発行し、裏面には職員が交替でその月の利用者の様子を記載し、家族に生活の様子が分かるようにしている。これまで、都市圏以外では、一般的にコミュニティ意識は高く、地縁による共助の支え合い体制の基盤が存在する地域が多かったといわれているが、他方で、地域の担い手の減少により、共助の支え合い体制の基盤が弱体化しつつあり、今後、ほぼ全ての市町村において15～74歳人口が減少し、その一部では75歳以上人口も急速に減少することが見込まれている。こうした流れの中ではあるが、当ホームでは地域や家族との関わりを継続やそれぞれの利用者の力量に応じて「自立した日常生活」ができるようにケアを工夫するなど、地域密着型サービスとしての本来の姿を維持・継続しようと職員が奮闘している。
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と
		2. 利用者の2/3くらいが			2. 家族の2/3くらいと
		3. 利用者の1/3くらいが			3. 家族の1/3くらいと
		4. ほとんど掴んでいない			4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように
		2. 数日に1回程度ある			2. 数日に1回程度
		3. たまにある			3. たまに
		4. ほとんどない			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている
		2. 利用者の2/3くらいが			2. 少しずつ増えている
		3. 利用者の1/3くらいが			3. あまり増えていない
		4. ほとんどいない			4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が
		2. 利用者の2/3くらいが			2. 職員の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが			3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が
		2. 利用者の2/3くらいが			2. 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが			3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が
		2. 利用者の2/3くらいが			2. 家族等の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが			3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない			4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が			
		2. 利用者の2/3くらいが			
		3. 利用者の1/3くらいが			
		4. ほとんどいない			